

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立

日新中学校

学級数

3

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

確かな学力をもち、郷土愛に満ちた生徒の育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

1 取組のきっかけ

昨年度は主に「授業の実践」「学習指導の実践」を中心に取り組み、生徒が確かな学力を身に付ける為の教師の授業力向上に取り組んだ一年であるが、その基礎基本の確実な定着を目指した学習指導の実践を継続し、本校のメリット・デメリットに着目しながら、日新中学校だからこその教育実践・教育課程の研修を深めていくこととした。

2 取組の位置付け

研修担当・教務が中心となり教育課程の改善充実を進めている。

3 取組の方法

個人研究・授業公開

個々の教師が、下記の視点の様々な項目にポイントを置いた実践研究のレポートを発表。および公開授業交流の実施。

① 生活習慣・学習習慣の形成の視点から

- ・食育・家庭学習の習慣化・早寝早起き朝ご飯・家庭でのコミュニケーション
- ・持ち物・挨拶（礼儀）

② 望ましい学習態度の育成の視点から

- ・教室環境の整備・学習用具の準備・発表の仕方、聞き方
- ・ノート指導・「学び」のポイントやコツの習得・集団としての規律

③ 学校組織・指導体制の改善の視点から

- ・学力向上に向けた特別委員会・学力状況調査の分析・校内研修の充実
- ・校内研究の充実・教師の授業力アップ・TTの活用、指導体制の工夫改善
- ・小学校との連携

④ 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用の視点から

- ・言語環境を整え言語活動を重視・体験的、問題解決的な学習
- ・個に応じた指導の充実・定着を目指した繰り返し指導と小テスト等による検証
- ・読書活動の推進

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・各教科における授業公開
(成果) → 各教科ごとに、本校の特性をいかした授業を公開することができた。授業形態や発問の工夫などを交流することで、他教科での取り組みをそれぞれに授業に生かす良い機会となった。
- ・生活習慣・学習習慣の形成
(成果) → それぞれの学級での取り組みの交流（個人ノートの活用など）を通し生徒理解を深める事ができた。
- ・指導体制の改善
(成果) → TTを活用することにより、個に応じた指導を深める事ができた。
- ・基礎・基本
(成果) → 長期休業中の学習会の実施。

○ 教育課程検証の方法

- ・各教科における、授業振り返り用紙・確認テスト・定期テストなどの工夫。
- ・学校評価を含めた、定期的なアンケート調査。
- ・学力状況調査の分析。